

令和 3 年度

認定こども園 吉井にじいろこども園 事業報告書

佐世保市吉井町吉元 540 番 1

社会福祉法人ひなたの会

社会福祉法人ひなたの会
認定こども園 吉井にじいろこども園 事業報告

1. 事業報告にあたって

日常が子ども達にとってどれだけ影響があるのかを実感し、その日常を守る為に出来る事を模索しながらの昨年度。今年度は日常を守りつつ、かけがえのない子ども達の時間の中で発達をどう保障していくかと試行錯誤の連続でした。保護者の理解と子ども達の日常を守ること、又それを実行する職員のモチベーションを保つことも同じくらい大切なものでした。その時々での感染状況で出来る事を工夫し、保育を行ないました。保護者の気持ちに寄り添いながら園の思いも伝え、協力をお願いしました。

保育要領に表されている保育・養護・教育をよりどころとし、子ども一人ひとりに寄り添った保育計画の元、日々の明るく楽しい保育の実践を続け、子ども達の日常を守って行く事、発達を保障して行く事を伝え続け保育を進めてきた事は保護者との信頼関係にも繋がっていると感じました。家族・保護者の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様からの温かいご支援、御協力を賜りましたことを心から感謝いたします。

2. 事業経営

定款の定める本法人事業目的のため、保育所型認定こども園を経営しました。

[全体総括]

行事などの新型コロナウイルスにより変化した事に対して、今年度はどうなのかという保護者からの声に対応したり、担任と話す機会が減ったという意見を受け、出来るだけ担任が玄関で保護者と話す時間を取れるように配置を職員で工夫しました。日々保護者と対話出来る環境を継続した年度末の保護者アンケートでは「日々の様子を伝えてもらえる、話しやすい、一緒に考えてくれて安心出来る」という言葉がありました。対話の大切さや力を実感しました。そしてその体験は職員間にも繋がり、日々のエピソードを互いに話したり、気付きや悩みを言葉にする機会が増えました。【保育を知ってもらう、子どもの発達を知ってもらう】をねらいとした保育の祭典ではその時の子どもの姿を通して保育を伝え、発達を伝えました。年に2~3回ずつ各クラス別に行った祭典で対話を通して伝えていくうちに保護者に子ども達の行動をどう捉えるかという園の大切にしている寄り添う保育の視点がエピソードの中からじわじわと浸透し始めていると感じました。園の保育理念である子ども一人ひとりをしっかり受け止め、個を尊重し、自尊心を育むことで、友達や他人に対してのやさしさや思いやり、又、活動に取り組む意欲や集中力を育てる保育は今年度も対策をしつつ、工夫し提供しました。食育に添っての毎日の給食は子ども達の健康には欠かせなく、季節やその時々での興味関心に応じての食育も展開されており、月に一度のお弁当の日には家族の愛情を感じながら園庭や散歩先でのお弁当を楽しんでいます。保護者も、在園児も、職員も吉井にじいろこども園が子どものより健やかな育ちを約束し、実践できる施設であることを実感し過ごしています。年長組は大宮プール教室や乗馬教室に通う体験活動からも成長を感じました。昨年完成した「えがおの家」では、子育て支援、学童保育事業に取り組みました。地域の小学校に就学した卒園児の多くが利用するなど事業の必要性も実感している所です。令和2年度も皆様のご協力のもと、多くの行事を子どもの最善の利益を目指しながら、子ども主体で保育をすすめて、子ども達の心身の成長を実感する1年となりました。今後とも一層の保育の充実を図り、皆様と協力しながら歩いていく所存です。

評議員、評議員等の人選には多大なご協力、ご支援等頂きました。理事各位に感謝申し上げます。

【職員の状況】

職名	令和3年4月1日 の職員数				年間退任・就任						令和3年4月1日 の職員数				
	正規職員	有期契約 職員		計	正規 職員		有期契約職員				計	正規職員	有期契約 職員		実人員合計
		契約職員	パート				契約職員		パート				契約職員	パート	
					就任	退任	就任	退任	就任	退任					
園長	1			1								1			1
事務長	1			1								1			1
保育士	13	5	2	20		1				2	3	17	1	1	19
看護師			1	1										1	1
調理員	3			3								3			3
用務員															
事務員	1			1								1			1
副園長	1			1								1			1
保育補助			1	1						1	1				
嘱託医		2		2									2		2
計	20	7	4	31		1				1	4	24	3	2	29

[施設運営状況]

入所状況については、4月79名でスタートし、年平均84.5名となっています。

2.3号認定については年度初めより利用定員に近い入所者数となっておりますが、1号認定については入所者数に余裕のある状況となっております。

年度末より、次年度開設に向けた新しいホームページの打ち合わせを行い、適格な更新と保育活動の様子など広報活動に努めて参ります。

年度中に、育休取得者が1名でした。求人を行い保育士の確保も出来、保育に支障が無い状態の中で保育を行うことが出来ました。

時間延長、一時保育、障がい児保育、看護師配置は補助事業となり運営の安定化に繋がっています。

[利用者支援状況]

子育て支援、家庭支援の重要性を年々感じ、状況に応じた職員体制や保育内容等を整備しながら子どもたちが安定した生活が出来るよう対応しました。

年間変形労働制により子どもたちと担任の関わりを深く親密なものとし、一人ひとりの子どもの発達特性を確認しながら寄り添い、子どもの主体性を尊重し、達成感、満足感を体験できるよう取り組み、保育士間の連携、努力により目的どおり保育をすることができました。

「気になる子ども」への対応については園に講師を招き、園内研修を行いながら職員のスキルアップを計ると共に、保護者との信頼関係を築きながら、子どもに対する共通理解を深められるよう取り組みました。

アレルギー対応については、保護者・園長・看護師・栄養士・担任が一同に会し、話し合うことで共通理解を深め、子どもひとりひとりに配慮した食事の提供を行い、誤配・誤食等の発生防止に努めました。

[施設整備状況]

・現園舎園庭の維持管理につとめました。

[年間利用状況] (各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	36	36	36	36	39	40	41	41	40	42	44	44	475	39.5
女児	43	43	43	43	43	43	46	47	47	47	47	47	539	44.9
計	79	79	79	79	82	83	87	88	87	89	91	91	1014	84.5

[利用者状況推移] (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	18	11	13	8	11	15	76
29年度	18	14	13	13	9	12	79
30年度	16	15	17	14	15	9	86
R1年度	14	13	17	17	14	15	90
2年度	15	15	15	15	17	11	88
3年度	14	13	16	17	14	17	91

[主な行事] 令和3年度

4月	入所式	10月	稲刈り
	身体測定(毎月)	11月	七五三参り
	火災避難訓練(毎月1~2回)		芋ほり
	おべんとうの日(毎月)		味噌づくり
	保育の祭典(各クラス、年数回)	12月	もちつき
5月	ぎょう虫検査		クリスマス会
	尿検査(年2回、11月)	1月	どんど焼き
	内科検診(年2回、11月)	2月	節分集会
	歯科検診	3月	ひな祭り集会
6月	個人面談		お別れ遠足
	田植え		卒園式
	芋苗植え		不審者侵入避難訓練
	水遊び(6~8月)		
	プール(年長児のみ6月~3月)		
	乗馬(年長児のみ6月~3月)		
7月	川遊び		

[その他について]

① 安全管理

- ・防災訓練 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施
- ・不審者侵入対応訓練 地元警察・地域住民との連携訓練
- ・健康管理 園児・職員の定期診断及び調理・保育士全員の細菌検査を毎月実施
インフルエンザ、大腸菌感染症等の発病時には速やかに保護者に通達し協力を仰ぐ
- ・安全管理 園庭遊具の週1回の点検

② 地域交流

茶話の里へよさこい披露、南小学校との交流会

3. 苦情内容及び結果の公表

古賀新二、今村有希子、朝野卓也

なし